

たすけあい名古屋

通信第108号



「互近助」ネットワーク



昨年5月に日本創成会議（増田寛也座長 元総務大臣）が「地方消滅」と衝撃的な発表をしました。少子高齢化の進展、若年層の大都市への流入、特殊出生率の低下と、地方の活力が急激に落ちていることが問題提起されました。「たすけあい名古屋」のある名古屋市緑区は郊外のベッドタウンとして発展してきました。とはいえ、名古屋市の中でも地域格差があり、緑区も旧い緑区と新しい緑区に分けて見る事が出来ます。旧い緑区にある鳴子地域も地方消滅と云う言葉が全くよその世界の話とは言い切れなくなっています。しかしながら地下鉄鳴子北駅を中心とした駅そば開発、UR鳴子団地の再開発に合わせた、夢のあるまちづくり、暮らしやすいまちづくりに向けた動きも進められています。

鳴子地域では住民の有志が集まり「鳴子つながりネットワーク」を作ろうとの活動が始まっています。今、鳴子地域が直面している、若い人たちにとって魅力のあるまちづくり、少子高齢化、独居高齢者の増加、といった諸課題の解決に向け侃々諤々、額を突き合わせた議論がされています。昨年11月30日には鳴子台中学校の体育館をお借りして「鳴子地域福祉・文化交流会」を開催し、参加者全員が虹色のまちづくりへの思いを語り合いました。

4月に改訂介護保険法が施行されます。背景には給付財源の制約、被介護者の急増、介護の担い手不足があります。消費増税の1年半の先送りが決まってしまいましたが、増税分は社会保障の財源とすることになっていただけに、この決定が介護保険にどのような形で影響してくるかが気懸りです。保険料のアップ、介護報酬の引き下げ、利用者負担の増加など非常に厳しいものとなります。この改訂は「たすけあい名古屋」のような介護事業に携わっている者には勿論のこと、それ以上に介護保険を利用されている方々への影響は非常に大きいものがあります。

鳴子地域では高齢化が進み、鳴子、長根台、戸笠といった周辺学区の高齢比率は市内でも突出しています。高齢化の流れは止めることのできない現実であり、政府の方針として介護給付を絞らざるを得ないのであれば、それを補うことが必要です。地域の住人がお互いに支え合う仕組みを考えなければなりません。そのためには近くに住む人達がお互いに助け合う、「互近助」ネットワークを作り上げて行くことが必要です。地域でのネットワーク、鳴子に限らず、お住まいの近くにもあるはず。「自助・共助・公助」に「互近助」を加え、地域福祉力を強くして行こうではありませんか。（代表理事 西川 達夫）



利用者さんの玉手箱☆…「たすけあい名古屋」をご利用くださっている

利用者さんのコーナーです。利用者さんにも通信に参加して頂くため、俳句、和歌、詩、短編小説、また「たすけあい名古屋」に対するご意見ご要望、などご紹介していきます。



デイサービス鳴子にて

「デイサービス鳴子」に出会って

中嶋 初江

私は長く、千種区で暮らしてきました。朝は住宅前の公園で知人と集まり、ラジオ体操をしてから、連れだって少し歩いたところでモーニング。一緒に子育てをしてきたご近所さん達です。バスで少し行くと、主人を亡くした時からの付き合いのお寺もあります。

そんな慣れ親しんだ地域での日常でしたが、2年前一人で暮らす事が難しくなりました。そこで、緑区で所帯を持つ息子の所で暮らす事となりました。

やりたいように暮らしている息子達のところに飛び込まなければならず、ごつん、ごつんと毎日ぶつかり合って暮らしています。

そんな時にケアマネさんからデイサービスを勧められました。最初は何をしてよいか、どんな顔をしてよいのか…不安で一杯でした。

でも今は、いつも同じように声をかけてくれる仲間がいます。私も仲間が気になって、つつい声をかけてしまいます。スタッフの人は、家族以上に私の気持ちに気付いてくれます。今はデイに行く朝が待ち遠しいです。



家族より：おばあちゃんはデイで優しくなって帰ってきます。

おばあちゃんもデイのスタッフ一員の様な気持ちで過ごせています。
ありがとう。

おひさまカフェだより

2012年の夏、高齢化が進む鳴子団地で、独り暮らしの高齢者の交流の場として作られた「おひさまカフェ」。ボランティアさんのおかげで、老若男女、どなたでもふらりと立ち寄っていただけるカフェになりました。

祝日の水曜日は休みでしたが、2月からは祝日でも開くことにしました。また皆様が話に参加しやすいように、テーブルも大きく1つにまとめました。お一人での参加もご安心ください。

「おひさまカフェ」で皆さまのお越しをお待ちしています！

飲み物（コーヒー、紅茶）100円
毎週水曜日 午後2時から4時まで
「鳴子のおひさま」食堂にて

（担当 吉葉・長田）



カフェにて



デイサービス鳴子だより



書初め

今年も、1月のデイサービスの始めに、毎年恒例の書初めを行いました。「また今年も書かされるなあ。」と、T様のつぶやきも聞こえてきましたが、いやいや、いざ筆を持たれると、ご自身が納得されるまで、何枚も書いてくださいました。また、普段は控えめなK様が、きりっと姿勢を正し、筆を持たれる姿、その作品のすばらしさにスタッフも感動しました。

昔ながらの福笑い、カルタも皆さんで楽しめました。札が読まれると、

さっとみなさんの手が伸びます。集中力、俊敏さ、すばらしいですね。

1月にデイサービスに研修にみえた名市大薬学部5年生の学生さんが、「みなさん、元気でびっくりしました。」「逆に、僕たちが、元気をもらいました!」と言われていました。

寒い中、毎日、お散歩に出かけています。あと少し、寒い冬を元気に乗り越えましょう! (デイサービス鳴子 管理者 須原久美子)



福笑い

障がい者総合支援 「のん・たんと」「かるむ」だより

「生活介護のん・たんと」「生活介護かるむ」合同で、1月26日(月)に成人を祝う会を行ないました。障がいを抱える方の中には一般の成人式に参加されない方も多く、同じようにお祝いの機会を提供できるように、法人の行事として昨年から開催しています。

今年は「生活介護かるむ」に通うご利用者1名が成人を迎えられ、ご家族をお招きして昼食会と「サクスグループあやさと」さんの演奏でお祝いをしました。

新成人の利用者さんからは楽しめた様子が見られ、ご家族の方からも感謝の言葉を頂けました。また、参加した他の利用者さんも特別な日のご馳走や「あやさと」さんが心を込めて選曲してくだ

さったサクスの演奏を楽しむことができました。

これからもご利用者の喜びになるような支援を続けていきたいと思ひます。

(障がい者総合支援 かるむ管理者 奥山善仁)



ご 寄 付 の お 願 い



認定 NPO 法人となってから 1 年半が経ちました。本年度も多くの皆さまからのあたたかいご支援を頂き心より御礼申し上げます。27 年度からは新総合事業として、生活支援サービス、暮らし助け合いの活動をより一層活発にしていくことが求められています。

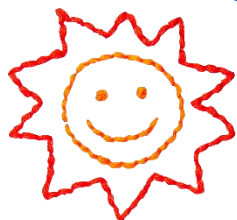
引き続きのご支援をお願い申し上げます。

☎052-899-0833 (担当: 長田、浅野、黒木) へのご連絡をお待ちいたします。

(代表理事 西川 達夫)

小規模多機能型居宅介護施設

鳴子のおひさま



ご利用者 募集中



現在、定員に余裕があります。 ○＝利用できます △＝ご相談に応じます

	月	火	水	木	金	土	日
通 い	○	○	○	○	○	○	○
お泊り	△	○	○	○	○	○	△



鳴子団地第80号棟

Q & A

Q どんな施設ですか？

A 介護が必要になった時、住み慣れた地域で家族に囲まれたご自宅で生活が継続できるように支援します。

Q どんな方が利用できますか？

A 要介護1～5の認定を受けている方がご利用頂けます。

Q どんなサービスですか？

A 通い（デイサービス）＋お泊まり（ショートステイ）＋訪問（訪問介護）のサービスが24時間365日、ここ1か所で受けられます。なじみのお仲間・なじみのスタッフ・なじみの建物なので、ストレスも少なく過ごせます。介護するご家族の負担を軽減します。また、ご家族が急用の時など、通い・お泊りとも延長や追加利用ができ安心です。

Q 介護度が進行した時が心配。

A ご不安なこと何でも常勤の看護師、ケアマネに相談でき、ご家族が安心して頂けるよう対応します。

見学・お試し・パンフレット請求は、お気軽にお電話下さい。

☎ 899-0586

坂倉・小粥（こがい）まで

FAX 899-0587



ホームページをご覧ください

たすけあい名古屋

検索



特定非営利活動法人（認定NPO法人）たすけあい名古屋

代表理事 西川 達夫

〒458-0041 名古屋市緑区鳴子町四丁目13番地 愛知県住宅供給公社鳴子第1住宅

TEL 052-899-0833 FAX 052-899-0800

Eメールアドレス：info@tasukeainagoya.com